

平成26年度 京都府立大学地域貢献型特別研究 (ACTR) 成果

分類 番号	A31	取組 名称	他素材との組み合わせによる「西陣織+X」製品の開発と マーケット調査による若者評価及び開発の方向性の検証
研究代表者： 生命環境科学研究科 教授・三橋俊雄			
研究担当者： 京都府立大学（三橋俊雄）、環境デザイン学科（研究生・斉藤千容） 外部分担者・協力者（及川光夫氏、川上忠義氏 ほか）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名）			
西陣意匠紋紙工業協同組合			
【研究活動の要約】			
<p>西陣織産業の低迷が続いている現在、西陣織文化を支え発信していく重要な要として存続してきた西陣意匠紋紙工業協同組合も厳しい状況に直面し、現代社会に適応した魅力ある西陣織製品の研究・開発・生産・流通のあり方が求められています。本研究では、「西陣織の新しい感性の創造と発信」を求めて、「皮素材等の異素材（X）と組み合わせた新しい感覚の西陣織開発」「緯糸の色変換による伝統的紋意匠・西陣織の応用開発」「紋紙を活用した製品デザイン開発」などを軸に、新たなライフスタイルを提案できる「西陣織+X」製品の開発を検討してきました。特に、「西陣織+異素材 X」製品の創新を目指し作品製作を展開してきました。また、多くの織屋が建ち並んでいた西陣地区で西陣織と異素材を用いたアートを展開し、住む人や訪れる人が楽しむとともに、その地の文化や歴史、かつてのにぎわいの「気配」に触れることができる空間を検討してきました。</p>			
【研究活動の成果】			
<p>本研究では、西陣織りの新しい感性の創造と発信を目指して、西陣織のデザイン開発、京都・西陣織の美学にまつわる歴史研究などを、以下のアイテムで実施しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 現代のライフスタイルに対して、インパクトのある「西陣織アート」を創出するため、「西陣織+異素材 X」を、「皮」「色ガラス」「アルミ」「木」「プラスチック」「鉄」「陶器」などで検討しました。 2) 革素材と組み合わせた新しい感覚のバッグデザイン、カメラケースデザイン、ふくさ・名刺入れデザインの試作提案を行いました。 3) 京都市営地下鉄「KYOTO駅ナカアートプロジェクト」に参加し、琳派400年記念祭に合わせたテーマ「現代の琳派」を意図しながら、琳派→尾形光琳「燕子花図屏風」→伊勢物語→没落した貴族の心の美→真の雅（みやび）→廃退の西陣アートと連想し、新感覚の「西陣織+異素材 X」作品を試み、烏丸線北大路駅構内に展示しました。 4) 西陣界隈の「西陣アート」構想として、現地調査、歴史調査、先進事例調査などを実施し、「西陣織+異素材 X」を軸とした、例えば、西陣町家「軒先」アート、「西陣ろうじ」空中アート、西陣町家「坪庭」アート、西陣界隈の「道のしつらい」アート（街路灯、サインパネル、門扉、石畳、ベンチ、町家壁面など）を検討しました。 			
【研究成果の還元】			
<p>平成27年3月、京都市営地下鉄「KYOTO駅ナカアートプロジェクト・現代の琳派」に参加し、烏丸線北大路駅構内に、「西陣織+異素材 X」パネル作品を展示しました。 「西陣織+異素材 X」作品のホームページでの発信を準備中です。</p>			
<p>【お問い合わせ先】 生命環境科学研究科、三橋研究室 教授 三橋俊雄 Tel: 075-703-5435 E-mail: tmitsu@kpu.ac.jp</p>			

参考 (イメージ図、活動写真等)

「西陣織+異素材 X」 組み合わせ検討試作



「西陣織+異素材 X」 製品検討試作



「西陣織+異素材 X」 地下鉄アート作品展示

